

CTR-2000V データ転送シートの使用法

ご使用の前に

- ◎ 本「データ転送シート」（以下「転送シート」）は株式会社サンコウ電子研究所（以下「弊社」）製デジタル膜厚計“CTR-2000V”専用の無償配布ソフトです。
- ◎ 本「転送シート」に関し、一切の質問・サポートなどのお問い合わせに弊社は回答の義務を負わないものとします。
- ◎ 本「転送シート」はMicrosoft[®] Excel 2013/2016/2019 のいずれかがインストールされている環境下でご使用ください。但し、同一環境下での動作を保障するものではありません。
- ◎ 本「転送シート」を商行為に使用することはできません。（レンタル・擬似レンタル行為や第3者への販売を禁じます。本ソフトの著作権は弊社に帰属します）
- ◎ 本「転送シート」の使用により生じたいかなる損害についても弊社はその責任を負いません。
- ◎ 本「転送シート」の改変、またはリバースエンジニアリング等の行為を行うことはできません。
- ◎ 本「転送シート」は日本国内のみでの使用とします。
- ◎ 本「転送シート」は予告せず改良、変更することがあります。

はじめに

この度は弊社の膜厚計“CTR-2000V”（以下「本器」）をご購入いただき誠にありがとうございます。

本器は「転送シート」により、Microsoft[®] Excel へ測定データの転送が行えます。

「転送シート」を使用するためには、あらかじめMicrosoft[®] Excel 2013/2016/2019 のいずれかがインストールされている環境が必要です。

また、本器に付属している通信ケーブルは、RS-232C 通信ケーブルです。パソコンの USB ポートに接続して通信を行う場合は、RS-232C-USB 変換ケーブルが必要です。

※Windows および Microsoft は米国マイクロソフト社の登録商標です。

1. 転送シートの入手、解凍

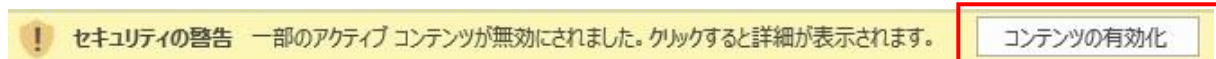
「転送シート」（圧縮ファイル）は弊社ホームページからダウンロードしてください。

[zip] 形式をダウンロードし、任意の場所に解凍してください。

解凍されるファイルは「CTR 転送シート V01.01 (forCTR2000V).xls」です。

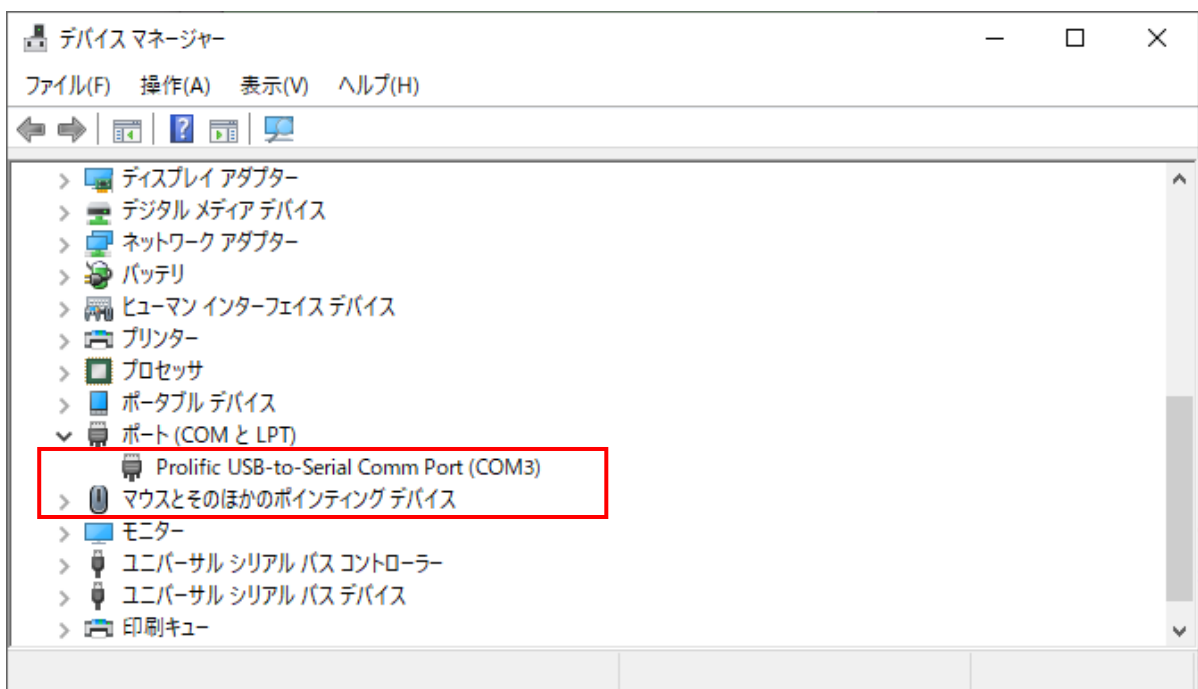
2. 転送シートの起動と通信

- ・本器とパソコンを通信ケーブルで接続します。
- ・「CTR 転送シート V01.01 (forCTR2000V).xls」ファイルを実行します。
- ・セキュリティの警告が表示される場合は、**コンテンツの有効化**をクリックしてください。

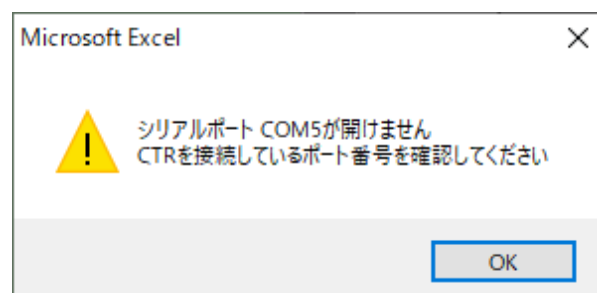


（注：Excel 2013 の場合）

- ・CTR Monitor 画面が開きます。
- ・COM ポート番号を **COM port** ①に入力し、Enter キーを押します。
※COM ポート番号が不明な場合は、**デバイス管理** ②をクリックし、デバイスマネージャーを起動後、画面上の [ポート (COM と LPT)] をクリックして COM ポート番号を確認します。
- ・**通信開始** ③をクリックします。「通信できます」が表示すればデータ転送が可能です。
- ・**通信終了** ④をクリックすると本器との通信が終了します。



(注) 本器とパソコンが USB ケーブルで接続されていない場合や COM ポート番号の入力が間違っている場合に「通信開始」③をクリックすると下記の警告が表示されます。本器とパソコンを USB ケーブルで接続し、改めて COM ポート番号を確認してください。



3. データ転送

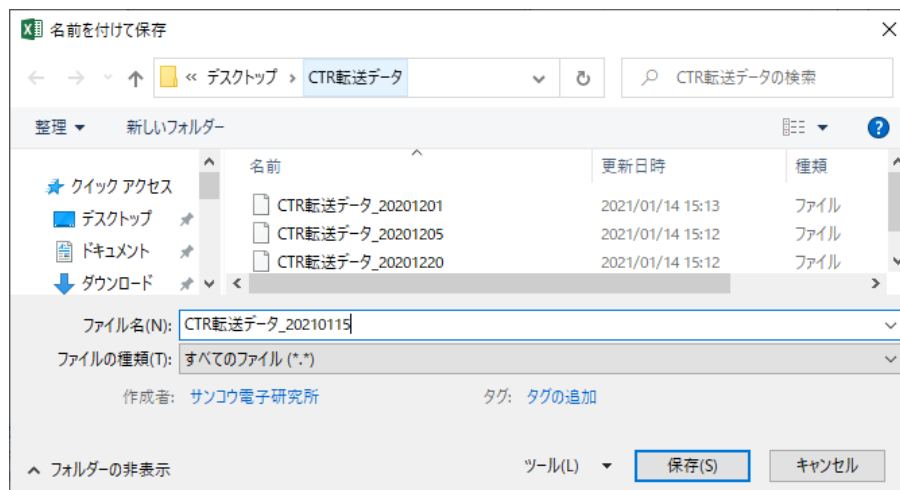
◆本器の設定、操作に関しては、CTR-2000V 取扱説明書の P. 23～P. 24 をご参照ください。

<リアルタイム転送>

- ・測定するたびにデータが転送され、画面に表示されます。
※本器で設定した単位がそのまま画面に表示されます。
- ・次に「データ数、最大値、最小値、平均値」の統計値が更新されます。
※統計値は画面に表示されたデータを基に演算されます。
※統計値は **単位選択** ⑤ で選んだ単位の数値が表示されます。
(注)「通信できます」が表示されている時は **単位選択** ⑤ の切替操作は行えません。 **通信終了** ④ をクリックして切替操作を行ってください。
- ・ **クリア** ⑥ をクリックすると転送済みデータが画面から消去されます。
(注) 通信を終了し、 **モニターを閉じる** ⑦ をクリックした場合もデータが画面から消去されます。



- ・ **CSV 保存** ④ をクリックすると転送済みデータが保存できます。任意の保存先を指定し、ファイル名をつけて保存してください。



＜メモリデータ転送＞

- ・メモリデータを転送すると転送シート内に新たなシートが作表され、通信が終了します。



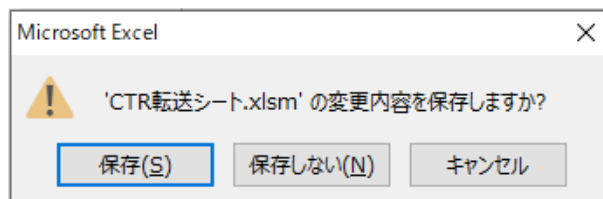
- ・ **モニターを閉じる** ④をクリックするとデータ転送済みのシートが表示されます。
- ・転送シートには、本器の測定データに加え「転送日時」、「データ数」が表示されます。
※測定値および上下限値は **単位選択** ⑤で選んだ単位の数値が表示されます。
(注)「通信できます」が表示されている時は **単位選択** ⑤の切替操作は行えません。 **通信終了** ④をクリックして切替操作を行ってください。
※本器で設定した上下限値の範囲から外れた測定値は赤字で表示されます。

Block	Measurement Date	Limit	Section	Point Number	Measurement Value	Unit
SANKO	201201	1500	10	1	4.4	μm
SANKO	201201	1500	10	2	23.7	μm
SANKO	201201	1500	10	3	47.8	μm
SANKO	201201	1500	10	4	99.7	μm
SANKO	201201	1500	10	5	146.7	μm
SANKO	201201	1500	10	6	301	μm
SANKO	201201	1500	10	7	610	μm
SANKO	201201	1500	10	8	1002	μm
SANKO	201201	1500	10	9	1273	μm
SANKO	201201	1500	10	10	1584	μm

- ◆転送データはExcelシートに作表されますので、データの分析や加工にご利用いただけます。

4. 転送シートの保存と終了

- ・転送シートの保存は、通常の Excel ファイルを保存する方法と同様の操作です。
例)「ファイル」をクリックし、「名前を付けて保存」を選択し、ファイル名をつけて保存します。
- ・転送シートを閉じると下記のメッセージが表示されますので、保存の有無を選び終了します。



5. CTR Monitor 画面の再表示

- ・「モニターを閉じる」㊸をクリックして閉じたモニター画面は、転送シート内の最初のシートに表示されている「CTR Monitor」をクリックすると再表示されます。



以上

V01.01 April 2021